

学部 / 実践看護学領域 / 看護の発展

科目コード:130049

国際看護演習Ⅱ Practicum: Global Health Nursing Ⅱ

担当教員	国際交流委員長 研修担当教員											
実務経験	諸外国での実務、教育、研究経験を有する複数の教員が担当している。											
開講年次	1年前期4年前期			単位数	1			授業形態	講義・演習			
必修・選択	選択			時間数	30							
該当ディプロマポリシー	(1)	○	(2)		(3)		(4)		(5)		(6)	◎
Keywords	国際看護、異文化理解、異文化交流、看護教育											
学習目的・目標	<p>【目的】 インドネシア共和国(以下、インドネシア)で看護研修を行うことにより、文化的能力(多様な文化への理解と適切な関わり)とアサーティブなコミュニケーション(自分も相手も尊重しつつ率直で対等なコミュニケーション)能力を高め、その文化や人々の暮らし、健康課題、保健・医療・福祉制度を理解する。また、急速に発展し、看護師の裁量が高いインドネシアの看護職の活動を理解することで、自国の看護との共通点・相違点を理解し、グローバルな視点から新しい看護の可能性を開拓しようとする考えを養う。</p> <p>【目標】</p> <ol style="list-style-type: none">1. インドネシアの文化体験や学生・地域住民との交流を通して、インドネシアの文化や人々の暮らしを理解する。2. インドネシアの健康課題と保健・医療・福祉システムを理解する。3. インドネシアの看護職の活動を理解する。4. アサーティブなコミュニケーションができる。5. 日本とインドネシアにおける看護の共通点・相違点を理解する。6. グローバルな視点から新しい看護の可能性を考えられる。											
授業計画・内容												
回	内容											
1-4	事前学習(講義・グループ演習) 1) インドネシアの概要 2) インドネシアにおける保健医療福祉システムや医療保健制度 3) インドネシアの看護制度や看護教育システム 4) 見学予定施設の概要 5) 臨地での文化紹介・健康教育の準備 臨地演習への臨み方・安全確保など											
5-14	臨地演習 研修先:ボンティアナック、ジャカルタ 期間:約1週間 内容: 1) 教育施設や保健・医療・福祉施設の見学 2) 看護学生・地域住民との交流(日本文化の紹介、健康教育) 3) 歴史・文化的体験											
15	振り返りと報告会											
教科書	随時掲示する											
参考図書等	随時提示する											
評価指標	事前学習 30%、臨地演習での取り組み 50%、レポート 20%											
関連科目	国際看護論、英語Ⅲ、英会話											
教員から学生へのメッセージ	インドネシアにおける看護研修での多くの学びと人々との出会いによって、看護に対する視野が広がり、グローバルな活躍を含めた新しい将来像が見えてくるかもしれません。日本では学べない新しい看護師の未来や可能性を、ぜひ現地で体感しましょう！ 受講にあたっての注意 *希望者が多い場合、学内選考で受講者が選抜される。 *実施プログラムおよび参加募集等については事前に説明会が開催される。 *学生セミナーや大学祭などで研修報告会を行うことがある。											